

事業計画書

団 体 名	特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑
事 業 名 称	幼稚園退園後の親子の居場所づくり事業
事業実施期間	(準備期間を含む。ただし、4月1日～翌3月 31 日までの期間であること。) 令和 6 年 4 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 31 日
1. 事業の目的	長期的な視点(複数年単位)で記入 (1)取り組みたい課題(解決したい社会問題等の現状を記入すること) 近年 2 歳児から子どもを幼稚園に通わせる傾向にある。親は園から帰った子どもの関わり方がわからず、習い事に通わせる事により、親子が一緒に過ごすことがなくなっている。そんな不安な育児を同じ立場の親子が集まって、親が自ら子育ての学びを探ったり、周りの親とコミュニケーションをとる機会の不足を解消する。 (2)動機・きっかけ(課題を解決・改善したいと考えた動機を記入すること) 幼稚園の保護者から、近隣に遊べる場所ないという声を聴き、親子が同じ年代の親子と会って情報交換ができる場を提供したいと考えた。 保護者がそれぞれの趣味や興味のあることを話す機会を作り、学び合うことで子育てに自信を持ってもらえたらと考える。 (3)取り組みたい課題の原因(団体が考える社会問題等の原因を記入すること) 少子化になり、近所にふれあえる同年代の子どもが少なく、結婚や出産で孤立した状態が長く続き、身近に話せる人が少なくなっている。同じ立場の人と関わる機会がなくなったことが原因と思う。 (4)取り組みたい課題の解決・改善策(団体が考える改善策等を記入すること) 親子が一緒に過ごす居場所を提供し、他の保護者と子育てについて話したり、また持っているスキルをお互いの子育てに役立てる機会を提供する。
	事業実施期間の視点(単年度)で記入 (5)申請事業の目的(今回申請を行う事業の目的を記入すること) 香里ヶ丘周辺の幼稚園児と親の帰園後の、居場所不足を解消する。 (6)申請事業が枚方市民に与える効果とその確認方法 ＜枚方市民への効果＞（誰に・どのような効果があるか具体的に記入すること） 地域の幼稚園児の親子の交流の場所になる。 在室時に、子育てに役立つ食の講座やコミュニケーションを育てるボードゲーム体験や音楽に触れる機会をつくり、豊かな家庭教育の手助けをする。 スキルを活かしたい保護者が、講座などを開催希望する場合、その過程の手助けをする。 子どもとのコミュニケーションを助ける絵本について学んでもらい、日々の読み聞かせを推進する。 ＜確認方法＞（参加者数を確認・参加者へアンケートやヒアリングを行う等具体的に記入すること） 毎回参加数の確認をする。日常的に参加者とコミュニケーションを取り、感想や要望を聞く。

2. 事業内容等	(1)事業の対象者(例:枚方市内に住む 10 代から 20 代の人 など具体的に) 主に香里ヶ丘周辺の入園児と親
	(2)事業の実施場所(移動補助等の事業の場合は、発着場所等を記入すること) 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑室内
	(3)事業内容 4 月より毎週火曜日と木曜日にえほんのお部屋ひまわり畑を幼稚園児の親子に開放する。時間は 14 時半から 17 時。 毎月 1 回、親子が参加できる絵本講座、親子で体験できるボードゲーム会、月 2 回ウクレレ講座などを開催する。 不確かな今を子どもと生きるためのコミュニケーション能力をつける絵本講座を NPO 法人「絵本で子育てセンター」の絵本講師に月1度開催してもらう。 9 月頃 エコラップ作り体験会開催し SDGs に対しての意識を向上してもらう。 親が自主的に、自身が持つスキルを他の親子に教えたいなどの希望があれば、その機会をつくるなど外部講師による親子のためのイベントを開催する。
3. 実施スケジュール	(事業の準備から終了までのスケジュールを記入すること)※添付も可 3 月 広報開始(既に実施している内容と新たな取り組みについて周知する) 4 月 開室開始とイベントの募集 4 月～2024 年 3 月 絵本講座・ボードゲーム会・ウクレレ教室開催 7 月 エコラップ作り広報 9 月 エコラップ体験会(講師の都合により開催月に変動あり) 2024 年 3 月 事業成果の集約 報告 その他季節の制作など(ハロウィン、クリスマス等)
4. 事業実施の体制	(1)人員体制(実施にあたり必要と想定する人員・配置人員の経験やスキル等を記入すること) 火・木曜日ボランティアスタッフ 2 名 (えほんのお部屋ひまわり畑にて長期ボランティア経験のある保育士含む)
	(2)事業対象者の見込み数(例:参加者●名など現時点の想定人数を記入すること) 昨年度実績 平均 3 人/日(2023 年 5 月～1 月) *講座に関しては参加者がいないもしくは講師の都合で中止となる場合もあり。
	(3)その他の体制(寄附者や協力団体などの想定があれば記入すること) 広報として、ひらかた子育て支援ネットワーク、いばしょ よりみち、ひらかた市民活動支援センター、しょうとく街角ステーション
5. 自立的・継続的に活動していくための工夫	(賛同者や財源の確保策、市民・市民団体・企業・行政等との連携についても記入すること) 絵本に関する活動を通じて、地域のボランティアのつながりを大切にしている。行政からも各種事業のつながりができ、団体を知ってもらえるようになってきている。財源は親子からではなく、地域保育園とのかかわりの中で絵本講座等を通じて確保を目指していく。

6. 申請事業に対しこれまでに取り組んだ内容や新たな取り組み	これまで、未就園児の親子の居場所として、一時保育や絵本を貸出しなどを行ってきた。長期休みには、幼稚園児も参加できるような夏祭りも開催してきた。今回利用時間を 14 時半から 17 時にすることで、帰園後の居場所として地域の親子に利用を広めていく。
7. 事業の PR 方法	(事業の実施について市民等へ周知する方法などを記入すること) SNS を通じての毎月の広報と毎月発行している「ひまわりママタイムズ」にて PR していく。
8. 申請事業に対する他の助成金や委託料等の申請予定	助成金等の予定 有り(申請中を含む)・無し(本補助金のみ) 助成金等の名称() 申請中の場合、申請結果が確定する予定日(令和 年 月 頃の見込み)
9. その他 ※PRすべき事業の特徴、添付する参考資料など	9 月開催の「エコラップ体験会」は参加親子に気軽に始められるエコを体験してもらい、SDGs の意識を向上してもらう。 毎月の絵本講座では子どもとのコミュニケーション能力つけてもらい、日々の絵本の読み聞かせを推進する。 ボードゲームは今までひまわり畑で小学生に遊ばせてもらっていましたが、今後は家庭でのコミュニケーションに利用して貰えるよう、親子で体験してもらう。 どの内容も、幼稚園児と帰園後の時間をどう過ごしていいか、関わり合いに困難を感じている親子の助けになるものとして知ってもらいたい。 ひまわり畑として、未就園児から継続的な保護者とのかわり続けていく為の取り組みにしたい。

事業収支予算書

団体名： 特定非営利活動法人えほんのお部屋ひまわり畑

補助対象事業の名称：	幼稚園退園後の親子の居場所づくり事業
------------	--------------------

事業実施期間：2024年 4月～ 2025年 3月

【収入の部】

項 目 ※ 1	予算額(円)	内容説明（積算根拠等）
枚方市補助金(一般) (A)	90,000	補助金交付申請額（一般寄附）
枚方市補助金(団体) (B)	230,000	補助金交付申請額（団体希望寄附）
自己資金	4,360	
会費	12,000	会員会費 10人×1200円
合 計 (C)	336,360	

【支出の部】

項 目		予算額（円）	内容説明（積算根拠等）
補助 対象 経費	ボランティア人件費	222,500	毎週火・木89日(14:30～17:00) 222.5時間×2名×500円
	講師料（ウクレレ教室）	24,000	1000円×24回(参加者不在・講師都合による中止の場合あり)
	講師料（ゲームコーディネーター代）	24,000	2000円×12回(参加者不在・講師都合による中止の場合あり)
	絵本の会講師料	48,000	2000円×2人×12回(参加者不在・講師都合による中止の場合あり)
	広報印刷費	660	コピー用紙等
	講師料（エコラップ講師）	10,000	10000円×1回(9月～11月頃開催予定)
	製作費	7,200	フェルト・両面テープ・シール等（600円×12ヶ月）
小 計 (E)		336,360	
補助 対象 外 経費			
小 計		0	
合 計 (D)		336,360	

- ※ 1：事業に係る収入はすべて記入してください。
- ※ 2：収入の合計（C）＝支出の合計（D）となるように記入してください。
- ※ 3：枚方市補助金(一般) (A) は、補助回数により記入可能な金額が異なります。
（詳細は、募集要項及び別シート「チェックリスト」を参照すること）
- ※ 4：枚方市補助金(団体) (B) は、個別に通知した団体希望寄附額が上限です。
（通知がなかった、または今年度の申請を希望しない場合は、0円と記入すること）